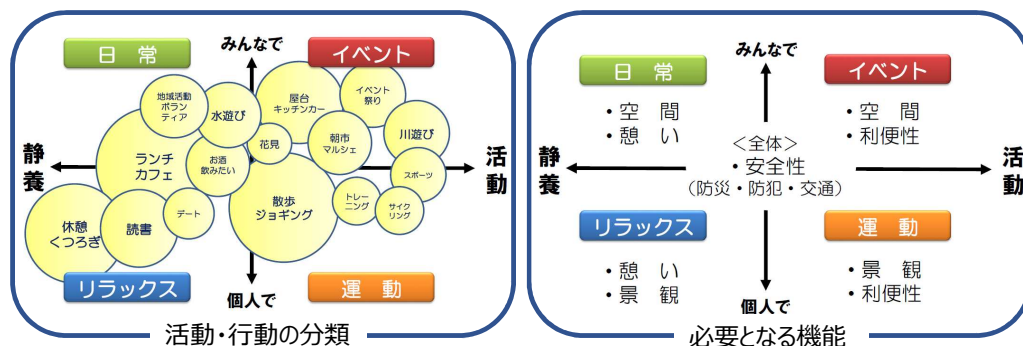


発行：前橋市役所 市街地整備課／お問い合わせ先：工務係
TEL:027-898-6967 FAX:027-221-2361 E-mail:shigaichi@city.maebashi.gunma.jp

第1回ワークショップのまとめと分析

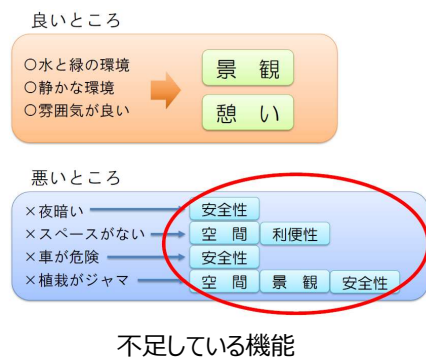
(1) 活動・行動から必要となる機能を考える

第1回ワークショップでは最初の作業として、「広瀬川で実現したいあなたの活動・行動」を各グループに提案していただきました。さまざまなご意見をまとめた上で【イベント】【日常】【リラックス】【運動】系に分類し、そこから必要となる機能を考えました。



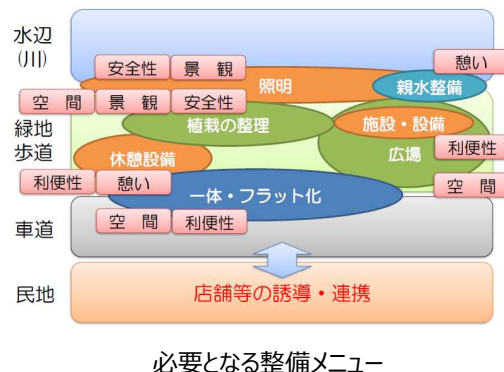
(2) 現在の広瀬川に不足している機能

続いて上記の活動と機能をふまえ、現在の広瀬川に対する「良いところ」「悪いところ」を整理しました。広瀬川においては「景観」「憩い」は充実しているものの、「空間」「安全性」「利便性」が不足していることがわかりました。



(3) 必要となる整備メニュー

以上の分析により、広瀬川河畔緑地において以下のような整備メニューを実施することにより、現在不足している機能の補完と、更なる高質化が期待できると考えられます。



第2回ワークショップを開催

第2回目のワークショップを1月21日(月)に中央公民館（元気21）にて開催し、50名の方にご参加いただきました。今回は1回目の成果を元に広瀬川を3つのエリアに分けて、それぞれのエリアのテーマと具体的な整備内容と活動を提案していただきました。

作業①
「太陽の鐘エリア」を中心に「エリアのテーマ」を設定し、「活動」「整備」を整理する



作業②
「文学館エリア」を中心に「エリアのテーマ」を設定し、「活動」「整備」を整理する



作業③
「交水堰エリア」を中心に「エリアのテーマ」を設定し、「活動」「整備」を整理する



(各グループ)発表



ファシリテーターのご紹介

前回と同様に進行を務めていただくファシリテーター役を前橋工科大学 准教授 堤洋樹先生にお願いしました。

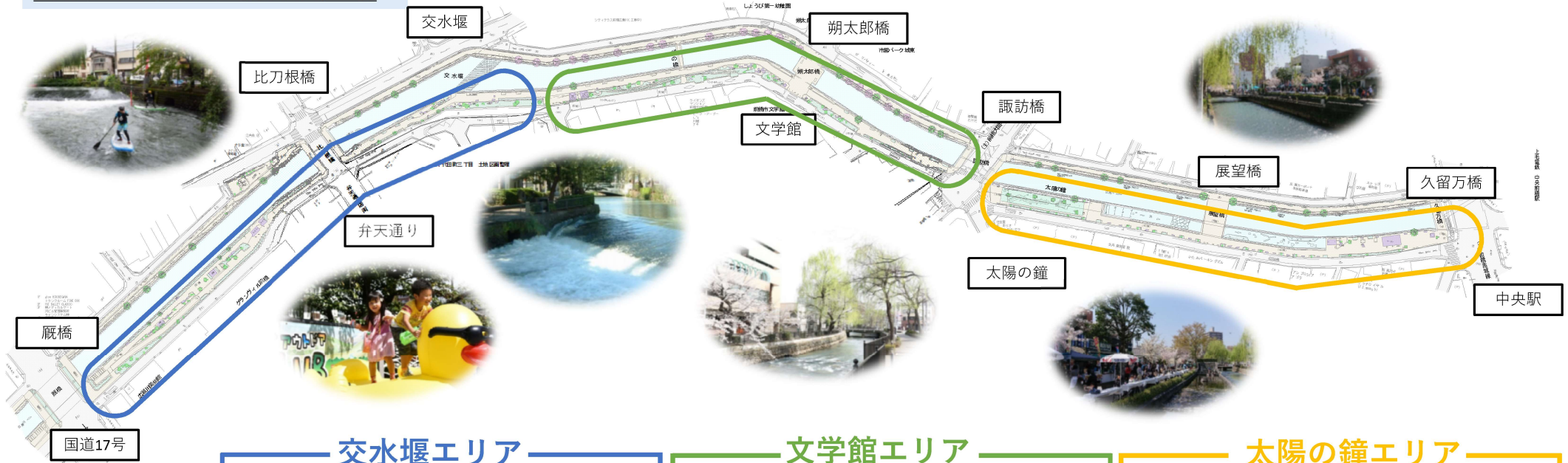
各グループの作業結果(発表内容)は裏面です！



ワークショップのスケジュール



今回の再整備検討におけるワークショップは全3回を予定しています。各回ごとにテーマを決め、さまざまなご意見をもとに、より良い広瀬川整備を皆さんと検討していく予定です。



太陽の鐘エリア

Aグループ

テーマ：四季の広場（交水堰エリア・文学館エリア共通）
落ち着いた大人のエリア

- ・四季を感じられるような植栽の整備
- ・読書ができるような休憩施設の整備
- ・高校生と一緒に植栽の維持管理
- ・前橋公園と連携が図れるように、17号西エリアとのアクセス向上

Bグループ

テーマ：生きがい実現広場
健康的なエリア

- ・健康維持やリハビリのための運動器具の設置
- ・交水堰を活かしたビューポイントの設置
- ・交水堰前で涼をとりながらオープンカフェ

テーマ：散策したくなる広場
家族が楽しめるエリア

- ・桜を増やし、花見を楽しむ
- ・朔太郎橋の上で音楽イベントを行う
- ・市営パーク城東（駐車場）を有効利用

Cグループ

テーマ：歩くエリア
17号から気づいてもらえるようなキャッチーなエリア

- ・いつでも歩けるエリアとするために雰囲気を明るくする整備
- ・交水堰やアクアアクティビティを鑑賞できるスポットの整備
- ・モニュメントの整理

テーマ：座れるエリア
いつでもどこでも休憩できるエリア

- ・飲食や休憩ができるように、屋根付きのスペースやベンチの設置
- ・見通しを良くするために植栽の整理
- ・歩道の拡幅とフェンスの高質化

Dグループ

テーマ：自然と憩いのエリア

- ・桜を植えて桜並木を拡大する
- ・老木の伐採など、樹木の植栽管理を行う

テーマ：四季を感じるエリア

- ・梅・桜・沈丁花など、季節に応じた樹木の花祭りを開催
- ・歩車道の見通しを良くするために植栽整理を行う
- ・老木となった桜を新しい桜に植え替える

Eグループ

テーマ：芸術のエリア 夏 ドイツ
アーツまでつながる芸術のエリア

- ・芸術のエリアとするため、花やガーデニング、照明の整備
- ・交水堰のライトアップ
- ・芝居小屋の復活で賑わいを創出

テーマ：落ち着いた大人のエリア 春 フランス
物語に出会える場所、主人公になれる風景の演出

- ・デザインの統一を図り、高質空間を整備
- ・暗くて夜歩きづらいので、見通しを良くするために植栽の整理
- ・文学館前の車道を規制し、オープンカフェができるように

Fグループ

テーマ：体感エリア（交水堰エリア・文学館エリア共通）
体が感じる、心が感じる「体感エリア」

- ・日常的にマルシェが行えるような整備（日本最大級の朝マルシェ）
- ・花見を行うために桜を中心とした植栽整備（千一本桜並木）
- ・車道を規制し、歩行者が歩きやすい道路の整備

- ・ モニュメントを整理し、オープンスペースを確保
- ・ 小川は廃止
- ・ **Wifi**が利用できる環境の提供

Gグループ

テーマ：子供の遊び場エリア

- ・子供が遊ぶように芝の整備（とにかく緑化）
- ・木陰ができるような樹木や四季の樹木の植栽整備
- ・17号からの景観を意識した整備

テーマ：広瀬川ブランドエリア

- 大人が楽しむ「静」のエリア。読書好きな大人や幼稚園の保護者の方が集えるエリアに。広瀬川を眺めながらワインやコーヒーを。食事や読書ができるテーブルやイスの整備

テーマ：憩いの広場
子供が遊べるエリア

- ・花見をしたり、屋台を設置できるような広場の整備
- ・子供が水遊びをできるような池や親水施設の整備

テーマ：活動したくなる広場

- ・池をなくし、ラジオ体操やドッグランのできるバリアフリー化した芝生広場の整備
- ・歩車道のフラット化
- ・みんなに優しい手すりや背もたれのあるベンチの設置

テーマ：文化芸術を感じるエリア

- ・広いスペースを活用し、ゆったり憩えるエリア
- ・イベントや屋外展示ができるような広く平らな芝空間の整備
- ・太陽の鐘、アーツ前橋と連携を図る
- ・子供が遊ぶための親水施設の整備

テーマ：憩いのエリア

- 現在の施設を活かしてみんなが集えるエリア
- ・水遊びができるような池の整備と維持管理
 - ・桜や蠟梅を植える

テーマ：遊べるエリア 秋 アジア

- ・池をやめて、芝生広場に整備
- ・屋台などが出店できるように、電気水道などの施設整備
- ・太陽の鐘やアーツ前橋と連動したアートエリアの整備

テーマ：体験エリア

- ・池を活かしたイベント（カヤック等）を行うために池の再整備
- ・小さい子供も楽しめる親水施設の整備

テーマ：大人のくつろぎエリア

- ・イベント時に使える東屋やベンチ、電気水道等の整備
・子供たちが楽しめるように親水施設やアートの整備
・オープンスペースを増やすために歩車道のフラット化